



歴史資料橋「御原橋」



DATA・BOARD 50



- ① 兵庫県三原郡西淡町松帆古津路～湊
- ② 延長205m(うち橋梁部分84.2m), 幅員11m
- ④ 瓦材

淡路島は瓦の全国三大産地として知られており、島内第一の河川、三原川に淡路瓦の新旧製品を素材とした御原橋が完成した。

橋の主柱には、日本最古の鬼瓦の原形を残すといわれる法隆寺の鬼面文鬼瓦と薬師寺の鬼神文鬼瓦などが、欄干には古代文様や古瓦が、中柱には淡路島各地の古瓦が復元されて張り付けられており、その数は六一〇〇枚以上にもなる。また、道路両側の歩道部分には、全国初の瓦混敷タイルが三〇二平方メートルも使われている。

この橋は、瓦が日本に伝来してからの一四〇〇年の変遷をつぶさに見ることができ、目で見、手でふれて学べるユニークな歴史資料橋として地元の人々をはじめ観光客にも親しまれている。